

「滋賀建設会会長の就任に際して」



(S 6 2 卒 中江 政善)

今年の 7 月に開催された滋賀建設会の総会から会長を仰せつかっております、大津市役所の中江です。この 3 月に定年となりましたが、4 月から定年延長で引き続き大津市役所で仕事をしております。

昭和 6 2 年卒で当時は衣笠キャンパスの 6 号館で学生生活を過ごしておりました。材料卒研に所属し、明石先生、高木先生のご指導の下、コンクリートの腐食について研究を行っていました。黒いつなぎの作業服を着て繰り返し供試体を作っては、破壊試験を行ってデータを取っていたことを懐かしく思い出します。

さて、最近の土木業界においては、インフラの老朽化が大きな社会問題となっております。1 月には、埼玉県八潮市で発生した下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没事故が発生し、トラック運転手が事故に巻き込まれ死亡されるとともに、約 1 2 0 万人の方々が下水道の使用自粛を求められるなど、人命や社会経済活動に甚大な影響をもたらしました。

近年の頻発化、激甚化する気象災害や大規模な地震災害に加え、高度成長期以降、集中的に整備されたインフラの老朽化が加速度的に進行していることの 1 つの結果であり、これらから得られる教訓への適切かつ迅速な対応は全国的に重要な課題であります。

土木技術者は、社会基盤の整備・維持の担い手であるとともに、災害時に最前線で地域社会の安全・安心を確保する必要があります。インフラ DX の推進、担い手確保・育成を行いながら、一層の若手技術者の活躍を期待しております。

結びになりますが、会員皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも滋賀建設会の更なる発展のためご理解・ご協力を賜りますようお願いを申しあげましてご挨拶とさせていただきます。